

思い出の、あの駅、あの列車

やさしい気持ちにさせてくれる、 ポカポカ陽気と美しい夕日



始発ちゃん

Text and illustrations by Shihatsu-chan



※予讃線（よさんせん）は、香川県高松市の高松駅から愛媛県松山市の松山駅を経て、愛媛県宇和島市の宇和島駅に至るJR四国の路線。このほか愛媛県内の向井原駅から内子駅までと、新谷駅から伊予大洲駅までの支線を持つ。

海景がよく知られている予讃線ですが、山の中も走ります。こんな小さな普通列車がたった1両で走っていると、目頭が熱くなりますね……。立間駅から下宇和駅間の車窓からは、灯火のような明るい色のミカンが色鮮やかにびかびかと輝きます。

それはお天道さまが空を照らすお昼でした。蛍光色の付箋をたくさん貼り付けた単語帳で勉強をする高校生、両手いっぱい釣竿やクーラーボックスを抱えたお兄ちゃん、たくさんのお野菜が入ったリュックにもたれるおばあちゃん、みんな夢見心地になっておりました。いつだって春のようなやさしさに溢れる予讃線が、私は大好きです。

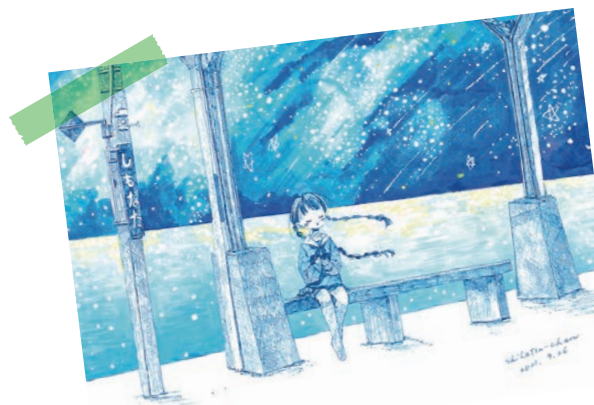
海沿いの駅、下灘駅で降りました。この駅は太陽が沈む美しい空と海を見られる駅として有名で、夕方になると老若男女たくさんの方が訪れて、無人駅が活気で溢れます。私は駅のフェンスにクロッキー帳を立てかけて、鉛筆を動かしました。駅舎の逆光が綺麗に見えて、こんな絵が描きたいなぁと思っていると、初めて会う方が笑顔で「良い絵ですね！」と声を掛けてくださいました。たくさんの方が

✦ いる中で私を見つけてくださって、素直に嬉しいなぁと思いました。その方とお話していると太陽は赤く染まり、紫やオレンジ、桃色で描かれた水彩画のにじみのような空へうつろいで行きました。

✦ 「今日出会ったみんなが、明日も1日元気で楽しくいてくれますように」。そんなふうに思えたのは、旅の中で心がやさしくなったのかもかもしれませんね。

✦ りんご飴のように赤い太陽が沈むと、笑顔で話しかけてくださった方は普通列車に乗って松山に帰られました。「ありがとうございます、きっとまた下灘駅で」。そう言葉を交わし、思いきり腕を伸ばして手を振りました。薄明になると皆さん帰られて、静寂の下灘駅になりました。耳を澄ますと海の音が響きます。ザザーザザーという波の音は、まるで地球の心音です。リーンリーンとソプラノで歌う鈴虫の音も空に響いて、自分は素敵な世界に生きているんだなぁと気付きました。

✦ 藍色に染まっていく空から一番星を見つけて、また予讃線に乗って下灘駅へ来ようと思いました。



*始発ちゃんプロフィール

全国を旅しながら、鉄道イラストを描いています。懐かしい風景や、心温まる駅が好きです。始発ちゃんの名前は「始発電車」に由来します。高校時代に始発電車で通学していたことをきっかけに、「始発に乗ってどこまでも、いろんな場所を旅したい」という思いからこの名前を付けています。